

令和6年度第3回石巻市下水道事業運営審議会会議概要録

第1 日時 令和7年3月4日（火） 午後2時～4時

第2 会場 石巻市役所4階 401会議室

第3 出席委員 7名

田村真介委員／佐藤正和委員／阿部宏通委員／芳賀茂吉委員／八木成一委員／

千葉倫委員／千葉宏一委員

※岡野知子委員、丸岡美穂委員、小野寺潤委員、阿部和夫委員、佐々木雅啓委員欠席

第4 事務局

建設部長 梶原正義／建設部理事兼次長 大壁勇彦／

建設部次長 佐藤一弘／建設部次長 今野正太郎／

下水道建設課長 阿部毅／同課技術課長補佐 阿部貴章／同課課長補佐 小山辰也

下水道管理課長 梶原和彦（説明）／同課課長補佐 藤井柳太郎（司会）／

同課技術課長補佐兼水洗化収納係長 戸村孝志／同課維持管理係長 佐藤昌也

同課主幹兼経営企画係長 小野忠敬／同係主査 菊地真央／同係主査 佐々木恭平

第5 会議概要

1 開 会

司会が全出席予定者の着席を確認し、定刻に開会を宣言した。

2 会議の成立

司会が、本日の審議会の会議の成否について、石巻市下水道事業運営審議会条例第5条第2項の規定により、会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができないとされているところ、委員12人中7人の出席を得たので、会議が有効に成立することを報告した。なお、本日は岡野会長が欠席のため、下水道事業運営審議会条例第4条第3項の規定により、副会長に職務代理として議長を務めていただくことを説明した。

3 会長あいさつ

会長欠席のため、田村副会長よりあいさつをいただいた

4 本日の会議についての説明

司会）次第3の報告事項ですが、前回会議の概要につきましては、資料1の概要録の配付を持ちまして、報告に代えさせていただきたいと思います。

それではここからの進行につきましては田村副会長にお願いいたします。

5 議題

下水道使用料の改定について

副会長）それでは次第の4、下水道使用料の改定について、事務局から説明をお願いします。

※資料2に基づき事務局から前回会議後に各委員から提出いただいた意見や質問に対する市の回答について説明を行った。

副会長）資料2について事務局より説明をいただきましたが、ここまでの説明につい

て、御意見や御質問はございますか。

副会長） 私も不明水の関係で、石巻市の不明水のパーセンテージがどのような数字か質問させていただきましたが、全国的に見ても高い数値ではないということで、それにかかる処理費用というのも、致し方ない金額ではあるのかなと思いました。

副会長） 皆様からは特段ございませんか。では事務局に次の資料の説明をお願いします。

※資料 3 に基づき事務局から各委員からの意見等を受けて修正した下水道使用料改定案について説明を行った。

副会長） ただ今事務局より説明がありましたが、皆様から御意見・御質問はございますか。

副会長） 前回の案からだいぶ増加率が抑制されているという案になっており、前は令和 11 年度を基準に経費回収率を 100%にするという案でしたが、1 年前倒しした令和 10 年度に 100%にするということで、その影響でパーセンテージが減りまして、令和 11 年度は、不足が生じるというような状況になっております。前回の案ですと、どうしても値上げをしていくというイメージが見えてしましまして、もちろん石巻市の取組みはこれまでもやってきたこともありますし、これから計画されていることもあるとは思いますが、どうしてもこの値上げの部分だけが見えてしまうというような状況だったのかなと思っておりました。今回はその点踏み込んで、令和 11 年度はこの不足が生じるわけですが、ここに向けて何年か、その前段階で歳出の抑制や収入の確保等を考えていって、不足を解消していくというような取組みの姿勢が見えたのではないかと思います。

委員） 前回よりも増加率が抑制された改定案となっておりますが、これは審議会の各委員からの意見を受けて修正したということでしょうか。

事務局） 今回、皆様からいろいろな御意見等をいただきまして、形として何かやってみせなければならないではないかということで、令和 11 年度には不足が生じる、その分はそれまでいろいろやって結果を出すという形とさせていただきました。皆様からのいろいろな意見を踏まえた中でこのような方向とさせていただいております。

委員） 前回の案だと、改定率が 24%ということで、合併以降初めての改定となるわけですが、市民理解を得るのが難しいのではないかと考えておりましたが、今回の抑制された改定案であれば、なんとか市民の理解を得られるのではないかと思います。

副会長） 今、御意見がありましたように、前回会議でも意見が出ていたと思います。やはり市の現状の取組みや今後の取組みというものをしっかりと市民の皆様に知らせていくというところに力を入れていただければなと感じております。それと質問になるのですが、資料 3 の 7 ページ、令和 11 年度に不足額が 5,500 万円ほどになるかと思いますが、これぐらいであれば何とかかなるという金額なのではないでしょうか。

事務局） この間に 4 年間ございますので、この金額を目標に様々な対策に取り組んでいこうと考えております。

副会長） 令和 11 年度にまた改定の時期が来るということですね。わかりました

委員) 同じような意見となりますが、令和 11 年度に収入が不足する部分については石巻市で水洗化率の向上や収納対策をしっかりと行っていくという覚悟が感じられましたし、頑張っていたきたいと思いますが、この辺のアピールを説明の時にしっかりと行って、市民の皆様にも市の取組みを訴えていけば、理解していただけるのかなと思います。

事務局) はい。御意見ありがとうございます。

副会長) 私から質問ですが、令和 8、9、10 年度は、逆に市の方に収入が多く残るということだと思いましたが、こちらの方は以前の資料にありました不測の事態に充てるようなものになるのでしょうか。

事務局) はい。前回の資料 2 の 51 ページにありますが、不測の事態に備える内部留保資金とする、あとは一般会計からの基準外だけでなく基準内として支払われる繰出金を抑制するといったための資金として活用するような形になります。

副会長) ニュースでもたびたび報道されておりますが、老朽化が問題となっております、まさに不測の事態が起きるかもしれないというところで、こういった余裕分というのも必要なかと思しますので、こちらについても、先ほど佐藤委員から意見がありましたように、今後の説明に加えていくことも必要なのかなと思います。

事務局) はい。御意見ありがとうございます。

委員) 今回の改定案の修正に伴い、前回会議資料 2 の 49 ページなどにも修正が必要となってくるとは思いますが、資料は修正されるのでしょうか。

事務局) 資料として今後整理します。

副会長) 他にございませんか。それでは本日の議事はこれで終了といたします。委員の皆様御協力ありがとうございました。

6 その他

事務局) 連絡事項の前に、八潮市で道路陥没事故がありましたので、その関係のお話をさせていただきたいと思います。今回の陥没事故ですが、明確な原因はまだ究明されていないようで、流域下水道の管理者であります埼玉県がこれから原因究明委員会の設置を検討しているようです。下水道が原因とされているのは、様々な条件が重なった 1 つの要因であって、他にもこの地質・地盤の問題が挙げられておりまして、液状化しやすい軟弱な地盤だったことや、他にも交通量が非常に多く、大型車両や重機の通過が多い場所で、その分、地盤への影響が大きいと言われております。石巻が管理している下水道管というのは大きくても 800 ミリ、80 センチで、宮城県で管理している流域の幹線も下水道管は 1500 ミリ、150 センチですが、八潮市の陥没現場の下水道管は、4,750 ミリと非常に大きな下水道管となっております。今回、八潮市で発生した道路陥没事故を受けて、国土交通省から、緊急点検の事務連絡が発出されて、対象としては晴天時の 1 日最大処理量が 30 万立米以上の大規模な下水道処理場に接続する、管の太さが 2,000 ミリ以上の下水道管路ということで、石巻はもとより、宮城県内において該当する施設はありませんでしたが、石巻市は対象外ではありませんが、市民の安心安全を考えまして、2 月 6 日と 7 日の両日に、建設当時の昭

和 48 年から 50 年を経ました污水管渠や宮城県で管理している流域下水道への接続点、など 18 ヶ所を選定しまして、自主的に緊急点検を行い、異常がないことは確認しております。今回の事故を受けまして、国の方では下水道など大規模な道路陥没を引き起こす恐れがある地下管路を対象とし、重点的に提携を行う対象や頻度、技術などの点検のあり方や施設の維持更新や再構築と、それらを支える制度のあり方について、検討を始めているようです。この結果が、石巻のような小さい下水管の点検方法などにどのような影響を及ぼすか、現時点ではわかりませんが、維持管理面の強化を求められた場合には、今後の維持管理費の増大にも繋がり、使用料にもはね返ってくることもなると思いますので、今後、その検討結果を注視していきたいと考えております。以上八潮市の関連の話となりました

事務局）最後に資料 4 を御覧ください。今後の日程についてですが、現時点では今後、今年度の最後の会議を 3 月 24 日の週に、行う予定としておりますが、今回欠席者も多く、会長も欠席しておりますので、日程調整も必要ですので、調整の上、案内を出したいと思います。次回の会議では、市から「下水道使用料の改定について」を諮問事項とした諮問書を提出させていただければと考えておりました。これまでの会議での議論を踏まえまして、諮問書という形でお示しし、使用料の改定について御意見をいただきたいと考えております。また、よろしければ、経営戦略改定時と同様に、答申書の案を事務局で作成し、次回の会議で審議いただければと思います。また御意見をいただいた住民に対して周知や広報、抜本的な運営改善などや、本日いただいた御意見についても付帯意見とし、案を作成し、また、今回欠席された委員の意見も反映した上で案を作成し、それに対して御意見をいただきたいと思います。実際の答申にあたっては、岡野会長に一任いただき、岡野会長から市長宛に答申をいただく場を調整させていただきたいと現時点では考えております。現時点で運営審議会の皆様の任期は 3 月末となっておりますが、次回の会議の日程や進行状況によっては、あるいは次年度に運営審議会にお示しする内容によっては、再度委員の継続をお願いすることがありますので、その際は御快諾いただけると幸いです。

司会）ただ今の事務局の説明に対して御質問はございますか。（質問等無し）

7 閉会

司会）閉会を宣言した。